

2010（平成22）年

5周年

《市の動き》

- 1月11日 内山高志氏（プロボクサー）がWBA世界スーパーフェザー級王座を獲得
- 1月15日 内山高志氏（WBA世界スーパーフェザー級チャンピオン）に市民栄誉賞を授与
- 2月12日 日本工業大学と包括的連携協定を締結
- 3月26日 「慈恩寺原北遺跡出土旧石器時代石器群」を市有形文化財（考古資料）に指定
- 3月 エコまちづくり計画を策定
- 4月 1日 春日部市自治基本条例を施行
- 4月 1日 『クレヨンしんちゃん』が「まちの案内人」として活躍開始
- 8月 1日 庄和児童センター「スマイルしょうわ」が開館
- 9月 6日 地中熱利用ヒートポンプシステム実証実験を開始
- 10月 1日 春日部市合併5周年記念式典を開催
- 10月 1日 内山高志さん（WBA世界スーパーフェザー級チャンピオン）、ビビる大木さん（お笑いタレント）、増村紀一郎さん（人間国宝）、茂木健一郎さん（脳科学者）の4人をかすかべ親善大使に委嘱
- 10月 1日 「かすかべオラナビ」を開設
- 10月12日 埼玉県が春日部市を「環境みらい都市」に認定
- 11月 1日 庄和図書館が開館
- 11月 3日 第1回かすかべ音楽祭1部を開催
- 11月 7日 第1回かすかべ音楽祭2部を開催

《このころ》

- 2月12日～2月28日 第21回オリンピック冬季競技大会（2010／バンクーバー）開催（海外）
- 3月23日 久喜市・菖蒲町・栗橋町・鷲宮町が合併し「久喜市」が誕生（県内）
加須市・騎西町・北川辺町・大利根町が合併し「加須市」が誕生（県内）
- 12月10日 鈴木章氏・根岸英一氏、ノーベル化学賞受賞（国内）

《人口・世帯数（10月1日時点）》

人口：240,697人（前年同月比+187人）
世帯数：98,816世帯（前年同月比+1,273世帯）

《風文字》

上若組 大風：春日部 下若組 大風：大風
上若組 小風：愛情 下若組 小風：家族



春日部市合併5周年の節目の年



庄和児童センター「スマイルしょうわ」
開館（8月1日）



庄和図書館開館（11月1日）



春日部市合併5周年記念式典（10月1日）



第1回 かすかべ音楽祭 1部（11月3日）

合併に伴う財政効果

合併に伴うメリットを生かした財政効果をご紹介します。

●人件費削減

合併により、人件費が大幅に削減されました。

	平成17年 4月1日現在	平成21年 4月1日現在	削減効果
一般職員	1,464人	1,282人	約34.5億円
特別職（市・町長、 助役（現副市長）、 収入役、教育長）	8人 （平成16年 4月1日現在）	3人	約3.9億円
議会議員（定数）	52人	36人	約2.3億円

●合併特例債の活用

合併後の新市の一体化の促進や均衡ある発展に資するために行う公共施設の整備等に際して、非常に有利な条件で借り入れができる合併特例債を有効活用しています。

主な施設…第9保育所、春日部子育て支援センター、春日部第2児童センター、藤塚米島線整備、南桜井駅周辺整備、庄和児童センター、庄和図書館、地域振興ふれあい拠点施設

●補助金の有効活用

地域内の交流・連携・一体性の強化のために必要な事業で、合併により付加的に必要な事業に充てられる国からの補助金を有効活用しています。

主な事業…防災行政無線の整備、消防指令システムの改修、市道アンダーパス部の排水ポンプのオーバーホール、本庁舎1階窓口の整備などの18事業

（広報かすかべNo.62 2010（平成22）年10月号より）

2011（平成23）年

6周年

東日本大震災と春日部



大風会館1階展示室の被災状況（3月11日）



計画停電の状況（3月）



放射線量の測定開始（8月16日）



東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」内に春日部市市民活動センター及び保健センター開所（11月14日）

《東日本大震災による春日部市の被害》

- ・ 負傷者：13人
- ・ 半壊：4件、ブロック塀倒壊：30か所、屋根瓦倒壊など：338か所
- ・ 液状化：4か所（砂が少し出た程度）
- ・ 停電戸数：約2000戸
- ・ 避難所：19か所（3月13日正午全避難所閉鎖）
- ・ 避難所への避難者（ピーク時3月11日午後9時20分）：699人（帰宅困難者含む）

《市の動き》

- 3月11日 東日本大震災が発生（大風会館など被害を受ける）
- 3月18日 大池憩いの家を被災者の臨時避難所として開設
- 3月29日 「常楽寺の銅造阿弥陀如来坐像」を市有形文化財（彫刻）に指定
- 3月 春日部市公式ツイッターを開始
- 4月 1日 庁内シンクタンク「かすかべ未来研究所」を設立
- 4月 春日部市地域公共交通総合連携計画を策定
- 7月 ふれあい家族住宅購入奨励事業を開始
- 8月16日 春日部市内における大気中放射線量測定を開始
- 9月 官学連携団地活性化推進事業を開始
- 10月29日 東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」が開館
- 11月14日 東部地域振興ふれあい拠点施設内に春日部市市民活動センター及び保健センターが開所
- 11月18日 埼玉県立大学との包括的連携協定締結
- 11月 春日部市都市計画マスタープランを策定

《このころ》

- 3月11日 東日本大震災（国内）
- 6月26日～7月17日 2011 FIFA女子ワールドカップドイツ大会開催（なでしこジャパン優勝）（海外）
- 7月24日 アナログ放送終了、地上デジタル放送へ完全移行（国内）
- 10月11日 鳩ヶ谷市が川口市に編入合併（県内）

《人口・世帯数（10月1日時点）》

人口：240,769人（前年同月比+72人）
世帯数：100,008世帯（前年同月比+1,192世帯）

《凧文字》

上若組 大凧：春風 下若組 大凧：武蔵
上若組 小凧：努力 下若組 小凧：感謝



2012（平成24）年

7周年

再び発展へ向かって

《市の動き》

- 1月29日 第1回春日部市民俗芸能公開事業を開催
- 3月27日 「圓福寺の木造阿弥陀如来立像及び両脇侍像」、「崇蓮寺の木造青面金剛像」を市有形文化財（彫刻）に指定
- 4月 1日 市税などのコンビニ収納を開始
- 4月 1日 公共下水道供用地区を拡大（大畑・大場の一部）
- 4月 都市計画道路藤塚米島線の部分供用を開始
- 7月16日 「かすかべ親善大使」内山高志さんの凱旋試合を開催
- 7月 市道2-23号線全線が開通
- 8月 7日 春日部市消防職員が消防救助技術大会で全国1位
- 10月13,14日 初の議会報告会を開催
- 12月 「かすかべガイドマップ」を発行
- 12月 春日部市立東中学校の新校舎が竣工

《このころ》

- 5月21日 北太平洋上を中心に金環日食を観測（国内）
- 5月22日 東京スカイツリー開業（国内）
- 7月27日～8月12日 第30回オリンピック競技大会（2012／ロンドン）開催（海外）
- 10月 1日 白岡町が市制施行（県内）
- 12月10日 山中伸弥氏、ノーベル生理学・医学賞受賞（国内）

《人口・世帯数（10月1日時点）》

人口：239,991人（前年同月比－778人）
世帯数：99,654世帯（前年同月比－354世帯）

《凧文字》 天候不良および河川敷冠水のため中止

上若組 大凧：日本 下若組 大凧：元気
上若組 小凧：笑顔 下若組 小凧：希望



第1回春日部市民俗芸能公開事業-神楽の世界-
（倉常・不動院野・榎）（1月29日）



春日部市立東中学校 新校舎（12月竣工）

春日部で観測された世紀の天体ショー



金環日食観測風景（5月21日）
広報かすかべNo.83 2012（平成24）年7月号より

「広報かすかべNo.83 2012（平成24）年7月号」には、春日部で観測された世紀の天体ショーの様子が紹介されています。

「未来の科学者たちが金環日食を観察」と題して、「5月21日、市教育委員会から理科教育のモデル校の委嘱を受けている八木崎小学校で、全校児童748人が金環日食を観察しました。観察用めがねを手にした児童たちは、雲の切れ間から現れた黄金の輪を見て、「すごい」、「神秘的」との声を上げながら世紀の天体ショーを楽しみました。」と掲載されています。

2013（平成25）年 8周年



南桜井駅周辺整備 完成式典
(4月20日)



藤塚米島線全線開通記念式典
(5月11日)



広報かすかべリニューアル
(広報かすかべNo.93
2013（平成25）年5月号)



kasukabe+（かすかべプラス）
創刊号 表紙（10月1日）

シティセールス元年

広報かすかべの特集記事「2013（平成25）年の春日部の10大ニュース」（No.101 2014（平成26）年1月号）では、この年をシティセールス元年として紹介しています。この年は、かすかべの魅力を市内外へPRするため、「クレヨンしんちゃん絵はがきセット第1弾」の販売、広報かすかべのリニューアル、情報誌 kasukabe+（かすかべプラス）の創刊、かすかべフードセレクション認定、新たなかすかべ親善大使4名の委嘱など様々な事業が行われました。

春日部の魅力を発信したシティセールス元年

《市の動き》

- 3月25日 「長久記」を市有形文化財（古文書）、「めがね橋 付 倉松落大口逆除之碑」を市有形文化財（建造物）に指定
- 4月 1日 春日部市総合振興計画後期基本計画がスタート
- 4月 1日 こども医療費支給年齢を拡充
- 4月 5日 「クレヨンしんちゃん絵はがきセット第1弾」を販売
- 4月 南桜井駅周辺整備事業が完了
- 5月 1日 広報かすかべをリニューアル
- 5月11日 都市計画道路藤塚米島線が開通
- 7月 8日 春日部第一児童センター「エンゼル・ドーム」に親水広場をオープン
- 7月 8日 春日部第一児童センターの敷地に『クレヨンしんちゃん』キャラクターのモニュメントを設置
- 8月 5日 住民票等のコンビニ交付サービスを開始
- 10月 1日 「kasukabe+（かすかべプラス）」を創刊
- 10月 1日 春日部市路上喫煙の防止に関する条例を施行
- 10月 5日 かすかべフードセレクション認定証交付式を挙行
- 10月 6日 あえかさん（シンガーソングライター）、井田寛子さん（気象予報士）、太田裕美さん（シンガーソングライター）、平井信行さん（気象予報士）の4人を新たにかすかべ親善大使に委嘱
- 11月 6日 春日部市長に石川良三氏が就任（3期目）

《このころ》

- 3月15日 イオンモール春日部が開店（市内）
- 6月22日 富士山が世界文化遺産に登録（国内）
- 9月 2日 埼玉県（さいたま市、越谷市、松伏町）・千葉県（野田市）・茨城県（坂東市）において竜巻被害（国内）
- 9月 7日 第32回オリンピック競技大会（2020年）の開催都市が東京に決定（国内）
- 10月16日 記録的豪雨により伊豆大島で土石流（国内）
- 12月13日 特定秘密保護法が公布（国内）

《人口・世帯数（10月1日時点）》

人口 : 239,184人（前年同月比－807人）
世帯数 : 100,552世帯（前年同月比＋898世帯）

《風文字》

上若組 大風：日本
上若組 小風：笑顔・未来
下若組 大風：元気
下若組 小風：希望・前進



2014（平成26）年

9周年

新市立病院の建設

《市の動き》

- 2月 6日 春日部フィルムコミッションを設置
- 2月10日 日本自動車連盟（JAF）埼玉支部と包括的連携協定を締結
- 3月25日 「西金野井香取神社領朱印状 付 香取神社領替地につき覚書一通、黒漆塗葵紋入り文箱一点」を市有形文化財（古文書）、「見川喜蔵墓及び見川家五輪塔」を市有形文化財（歴史資料）に指定
- 4月22日 聖学院大学と包括的連携協定を締結
- 4月 地震体験車「ゆらりん」を導入
- 6月 1日 広報かすかべ6月号からAR動画の配信を開始
- 8月 新市立病院建設工事が始まる
- 9月27日 オーストラリア フレーザーコースト市との姉妹都市協定の締結
- 10月 1日 LINEによる情報配信を開始
- 10月26日 大学生政策提案コンテストを実施

《このころ》

- 2月 7日～ 2月 23日 第22回オリンピック冬季競技大会（2014／ソチ）開催（海外）
- 4月 1日 消費税率が8％へ引き上げ（国内）
- 6月 25日 富岡製糸場が世界文化遺産に登録（国内）
- 9月 27日 御嶽山噴火（国内）
- 12月 10日 赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏、ノーベル物理学賞受賞（国内）

《人口・世帯数（10月1日時点）》

人口：237,965人（前年同月比－1,219人）
世帯数：101,248世帯（前年同月比＋696世帯）

《風文字》

上若組 大風：上昇 下若組 大風：景気
上若組 小風：勇氣 下若組 小風：希望



地震体験車「ゆらりん」（4月）



聖学院大学との包括的連携協定調印式（4月22日）



新市立病院建設工事 起工式典（8月31日）



春日部市・フレーザーコースト市姉妹都市協定調印式（9月27日）

新市立病院の整備

新市立病院の整備に当たっては、2010（平成22）年3月に策定した春日部市立病院再整備計画基本構想に基づき、地域医療連携体制の拠点となる医療機関として、また4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）及び4事業（小児医療・周産期医療・救急医療・災害時医療）への対応を重点施策に定め、地域の中核を担う病院として、2015（平成27）年度中の竣工を目指して整備を進めました。